



大洲市 No.140 2016年 9月号 社協だより

編集 / 発行 社会福祉法人 大洲市社会福祉協議会
〒795-0064 大洲市東大洲 270-1

TEL 0893-23-0313
FAX 0893-23-0295

ホームページ <http://www.ozushakyo.jp>
大洲市社協 検索



肱東中学校 3年生 「地域交流・体験教室」を実施しました！

5月から始まった「地域交流・体験教室」において後半3つのイベントを実施しました。

先月号で紹介した「認知症絵本教室」と「傾聴コミュニケーション教室」で地域の方々と交流するための心構えを学んだ生徒たちが、今度は実際に地域に出て各種交流イベントに挑戦しました。

★イベント3つ目★

炭焼き体験

(6月21日(火)実施)

あいにくの天候で中止になった事業もありましたが、地域の方にていねいに教えていただきながら全員で炭焼きを体験することができました。

立て木をするのにどちらを上にするかを考えて窯に入れます。→内がんどや外がんどをつくり、さらに炭焼き名人に窓をつけてもらい、火つけとなりました。



★イベント4つ目★

炭出し体験(7月1日(金)実施)

6月21日に仕込んだ炭を今度は全員で取り出し、その炭を使ってBBQをしました！



★最終イベント★

地域交流活動(7月6日(水)実施)



菅田・大川会場に分かれて、ふれあい・いきいきサロンの方々と一緒に七夕飾りを作りました。

全イベント終了後に生徒たちから寄せられた感想の一部をご紹介します。

☆認知症絵本教室では、認知症についての正しい知識を得ることができ、それによりマイナスのイメージだけではなくプラスのイメージを持つことができるようになりました。コミュニケーション教室は「報告・連絡・相談(ほうれんそう)」の3つが印象に残り、社会に出てからも役に立つと思いました。

☆炭出し体験時、実際に炭窯の中に入って説明を聞くというとても貴重な体験をすることができ、暑い中私たちに一生懸命説明してくださって感謝しています。

☆学んだままにしておくのではなく、どう生かしていくかしっかり考えたいです。

☆サロンとの交流活動では、これまでに学んだことを生かし、地域の方々と交流することができました。世代を超えて作る七夕飾りは、今まで見て来たどの飾りよりも素敵でした。

☆地域の人たちと協力することが大事だとわかったので、地域の行事に積極的に参加したいです。☆今回の活動を通して、地域の温かさを感じました。地域がさらによくなるよう自分のできることをやっていこうと思いました。

今回の交流教室を通して生徒たちは地域に対する親しみを深め、「地域の中の自分」という新たな視点で様々なことを感じたようでした。

ご協力いただいた菅田・大川地区の皆様、ありがとうございました。



大洲市ボランティア連絡協議会 災害ボランティア研修会開催



平成28年6月26日(日)、肱川河川防災ステーションにおいて、大洲市ボランティア連絡協議会主催による「災害ボランティア研修会」が開催され、他市町の参加者を含めて、約60名程度の参加がありました。この研修会は、今年で12回目になり災害に対して日頃から備えることを目的として開催しています。

今回のテーマは、「救命救急の研修及び新聞紙によるスリッパ、皿、コップ作り」でした。

始めに、大洲消防署の河野氏・女性消防団員の池田氏、大藤氏らの協力により救命研修を行いました。心臓マッサージや止血法・AEDの使い方等を指導していただき、大切な人の命を守るために、人形を活用して成人と小児、乳児の処置の違いについて等を学習し、ひとを救う知識と技術の習得を皆さん真剣に取り組まれ、参加者全員の心が一つになつた講習となりました。

続いて、大洲市ボランティア連絡協議会の中居副会長から、災害時における新聞紙を利用したスリッパや食器等の作り方の紹介がありました。災害時には、飲み水や調理等に必要な水の確保が問題になります。食器の洗浄ができない為、ラップやナイロン袋を利用することも、一つの対応策であることを学びました。

参加者の皆さんは、新聞を手に知恵を共有しながら、実際にスリッパや皿を作成され、災害について日頃から備えることの大切さを学ぶ機会になりました。

「新聞を使った食器作りの研修をしたい」等のご希望がありましたら、お気軽にお問い合わせください。

ボランティア連絡協議会
中居敏子(兼)
地域福祉係 **☎**
(F) **☎** 412-60313
23-0295

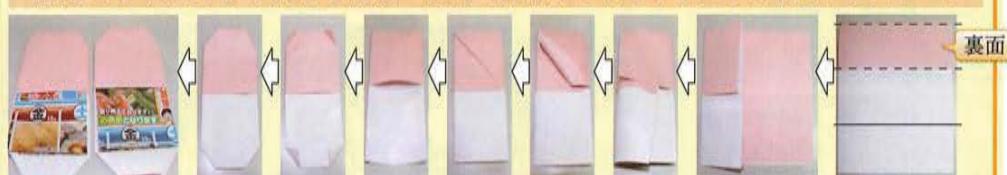
女性消防员大募集！

災害や救命時の知識や技術を習得しませんか。またAEDや心肺蘇生法普及の為、救急救命士と学校や施設と一緒に訪問しませんか。

大洲市役所 危機管理課
24-1742

大洲地区広域消防事務組合
消防本部 総務課
☎24-2666

新聞スリッパの作り方をご紹介 新聞の見開き1枚を半分にした状態からスタート



りてでを敷最
ます！丈厚足き後
夫みすのに、
にがこ新
な出と聞中

折り内側だけにとつ表
まり分先返
り分そののとし
て、ま付隅か
て、

れ内ての残
る側いビツ
にラた一
折部
り分上
入を

裏返して、3分の左側にはさみを折つて、中心にかづつて折る。

にのかに上
21つ中から下
回らずて心下方
折る。内4に向か
側分向

ワークキャンプ（福祉体験学習）事前説明会開催

とを目標に頑張つてくれる



食事について…
「自分で食べる！」
工夫された食器や自
助具を使うってこんな
感じにならね？



長井さんから、「子どもの約束は守る」「失敗しても経験することの大切さ」「いろいろな種類のボランティアを体験し続けていくこと」「ボランティアは人ととのつながり。助け合いの心」等経験談を交えながらボランティア活動の重要性についても話していただきました。

また、福祉施設に行く生徒たちは、社協職員より利用者の方とのコミュニケーションのとり方や食事介助についての説明を受けた後、車椅子の操作等の実技練習を行いました。

児童館へ行く予定の生徒たちは、大洲市VYS連絡協議会会長の長井一三さんを講師に、子どもに接する時のポイントをわかりやすく教えてい

七月九日(土)、十二日(火) 大洲市総合福祉センターにおいてワークキャンプ事業に参加予定の中学生・高校生に事前説明会を行いました。今年度は、体験学習先として市内福祉施設と喜多児童館にご協力をいただいて実施す



衣服の着脱を体験した後、椅子から車椅子へ移乗を実施しました。また、生活支援技術について「介護の3原則や実習前に抑えておきたい介助のポイント」を学びました。



まごころのおくりもの 6月分

金銭の部（一般分）

ペレツツア南予教室

磯兼 勝 様

松山市

（指定分）

《久米地区社協へ》

白石 福吉 様

阿 藏

井上 尚樹 様

阿 藏

《喜多地区社協へ》

岡 和生 様

田 口

堀 泰男 様

田 口

《平地区社協へ》

井上 博 様

大阪市

井上 寿雄 様

大阪市

《大川保健福祉協議会へ》

河内 久幸 様

藏 川

《柳沢地区社協へ》

吉中 昭文 様

柳 沢

《新谷地区社協へ》

二宮 研一 様

新 谷

《長浜地区社協へ》

藤渕 清徳 様

柴

大和カラオケ愛好会 嵐

代表 川田充義 様

長浜町

《特別養護老人ホーム

かわかみ荘様へ》

草莽の一虫 様

大洲市

あたたかい善意をありがとうございました。感謝をこめて掲載させていただきます。



職場体験学習が実施されました

七月五日～七日までの三日間、肱東中学校二年生の亀沖亮介さんが社会福祉協議会において、職場体験学習を行いました。

高齢者・障がい者のデイサービスセンターだけではなく、地域の集会所・公民館で、高齢者の交流の場として定期的に開催されているサロン事業に参加したり、在宅介護支援センターの職員と地域のお宅を訪問し、実態を把握するための調査を行いました。サロンでは地域のお世話人さんの協力を得てレクリエーションも行いました。

ご協力いただきました皆様ありがとうございました。

【亀沖さんの感想文より一部抜粋】

職場体験をする前までは、社会福祉士という資格について少し興味があるくらいでした。しかし、この三日間を通して、課題としていた「仕事」



事をすることの大切さと、社会での接し方を学ぶこと」ができました。最初は、消極的になりすぎてあまり返事などもできなかつたけれど、参加して、たくさんの方とコミュニケーションをとらせていて、笑顔も見ることができます。この三日間で少し積極的に活動できるようになりました。

今回学んだことをしつかりと将来に生かしていきたいです。

俳句ひろば

身の涼しうれし入院見舞はれる

上田 サチ子

夕焼に染まる海辺の分教場

入山 マサ子

評 映画「二十四の瞳」のような景

評 ですね。

花茄子や雨のきて土やはらかし

谷村 サヨ子

評 紫色の美しい茄子の花、雨に土も茄子の花も生き生きとしています。

評 デイサービス姉妹そろひて春の日を

笠田 幸子

評 ご姉妹そろわれてのデイサービスの日でしようか。春の日がおだやかにお一人をつづんでいます。

■このコーナーは、白岩チヅ子先生に担当していただいております。一般施設・学生さんからの応募、大歓迎です。みなさんからのお便りお待ちしております。

お問い合わせは、

大洲市社会福祉協議会

地域福祉係まで

☎ ②(23)0313
②(23)0295

佐田岬マラソン大会2016
ボランティア募集のお知らせ
11月13日(日)、伊方町で佐田岬マラソン大会が開催されます。

マラソン大会(4・219キロ)で視覚障がいの方に伴走していただけるボランティアの方を募集しています。「協力をよろしくお願ひします。

学生さんも大歓迎ですので、気軽にご連絡ください。

市内各学校で福祉教育(体験学習)が始まりました！！

5月から7月にかけて、市内小・中学校等で総合的な学習の時間を利用した手話・点字・音声訳教室、ボランティア体験学習、車いす・高齢者疑似体験学習、福祉施設実習前ガイダンス等が行われました。今後、これらの活動は、2・3学期につながっていきます。

福祉教育とは…

市内の児童・生徒たちに、福祉に携わるきっかけづくりやより福祉を身近に感じてもらうため、体験学習やボランティアの育成を行っています。学習を続けていくことで、高齢者・障がい者だけではなく、学校や地域で「自分に何かできることは何か」等気づきを得られるような体験学習をめざして行っています。

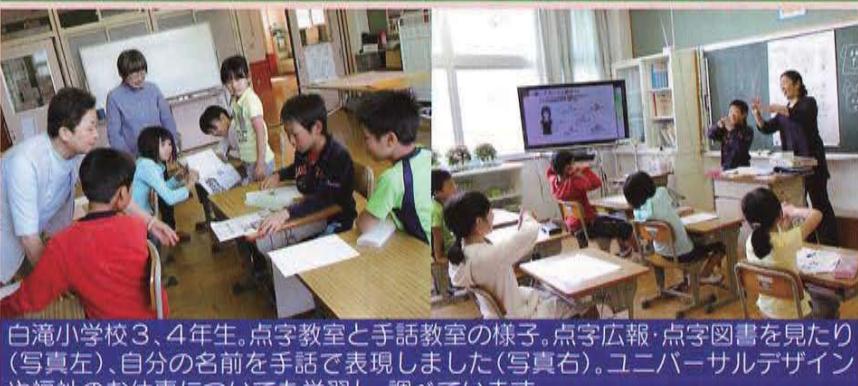
河辺中学校3年生。実際に高齢者疑似体験で階段の昇り降りをしていました。屋外では車いす体験も実施しました。施設実習に向けて頑張りました。



平野中学校3年生。ユニバーサルデザインフードを活用して、食事について学習している様子。(写真左)。とろみのついたお茶も試飲しました(写真右)。施設実習を終えて、2学期には、ひらのサロンとの交流が予定されています。



長浜小学校4年生。総合福祉センター見学の様子。2学期に向けて、ピクトグラムや盲導犬、手話等について調べます。



白滝小学校3、4年生。点字教室と手話教室の様子。点字広報・点字図書を見たり(写真左)、自分の名前を手話で表現しました(写真右)。ユニバーサルデザインや福祉のお仕事についても学習し、調べています。

新谷中学校1、2年生。1学期で6回の手話講座を行い、講義から実技までわかりやすく教えてもらいました。手話の歌も毎回入りますが上達が早い！！



大洲東中学校3年生のふるさと学習。音声訳教室の様子。この後車いす・高齢者疑似体験学習を経て、施設実習に臨みました。

心配ごと相談所案内

大洲市社会福祉協議会 (本所)	【一般相談】 毎週月・水 【介護相談】 毎週金 【弁護士法律相談※要電話予約】 毎月第1・3火(9月6日と20日) 【司法書士等法律相談】 毎月第2・4・5火および毎週木 午前10時～午後4時(弁護士法律相談は正午まで)※祝日を除く 大洲市総合福祉センター
長 浜 支 所	9月23日(金) 大洲市長浜体育館 午後1時～午後4時
肱 川 支 所	9月 5日(月) 大洲市肱川公民館 午後1時30分～午後4時30分
河 辺 支 所	9月 9日(金) 大洲市河辺老人福祉センター 午前9時～正午
問い合わせ先	本所 TEL23-0313(代表、弁護士相談予約) TEL23-5629(相談室直通) 長浜支所 TEL52-1194 肱川支所 TEL34-2312 河辺支所 TEL39-2510